

# 鳳 陽

—— 開学の祖「上田鳳陽」先生 (1769～1853) の教えを汲み ——

## 第183号

令和7年1月15日

発行所 一般社団法人 鳳陽会  
(山口大学経済学部同窓会)  
〒753-0089 山口市亀山町3-1  
TEL・FAX (083) 924-4361  
E-mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp  
印刷所 株式会社マルニ



SL やまぐち号

(撮影：学18 田中節生)

### 令和7年 新年のご挨拶



一般社団法人 鳳陽会  
理事長 松永 昭博 (学21)

#### 支部長会議反映して

#### 支部活動の活性化を

令和7年の清々しい新年を迎えました。私たちが青春を謳歌した山都・山口は悠久の歴史を伝えています。

#### ◆支部長会議開催

令和6年6月8日、広島で通常(全国)総会が開かれました。現役世代や若者が大勢参加して熱気あふれる集いとなりました。総会を準備し、運営していただいた広島支部の皆さん、ありがとうございます。

少ないのが共通の悩みです。世話役、事務局となる人材を確保し、支部会員のメールアドレスを把握。年に1回の支部総会にとどまらず、若手部会や女性部会を立ち上げ、多彩な企画を実行するなどの提案が出されました。

また、支部の深刻な課題として財政難が指摘されました。活動する資金が底をついていくのです。鳳陽会本部からの支部援助費の復活を求める声が相次ぎました。

その機会をいかして支部長会議を久々に開催。北海道から九州まで多くの支部の支部長や代表が駆けつけました。グループに分かれ、支部活動の活性化に向けて熱く語り合いました。支部会員の高齢化が進み、若い世代の参加が

この切実な要望を受け、10月19、20日、山口で開催した鳳陽会理事会で支部援助費復活を決定しました。支部会員が納入した本部会費の3割を当該支部に支給します。令和7年度から実行します。活動資金を得て支部活動が活性化することを願っています。

#### 行事予定

○令和7年5月24日(土)  
・第95回 通常総会  
於アルカディア市ヶ谷(東京都)

◇学祖、上田鳳陽先生の、子孫と世紀を超えて交流復活

山口大学の学祖は長州藩士、上田鳳陽先生です。鳳陽先生が江戸時代に開設した山口講堂が山大学の源流です。

明治時代、鳳陽先生のご子孫が山口高商(山口大学経済学部)の前身の式典に参列していました。その後、ご子孫が山口を離れ、長い間、交流が途絶えていました。

◇鳳陽会本部の移転協議

最近、ご子孫が首都圏に住んでいることが判明。令和6年6月1日に開催された東京支部総会にご子孫が出席。世紀を超えた交流が復活したのです。

学園だより

夏期フィリピンセブ島

短期英語特訓留学、成功裏に終了!

経済学部特命教授

山根 和明(学15)

昨年の夏、8月末から9月末までの一カ月、鳳陽会のご協力により経済学部生15名がフィリピンのセブ島の語学学校 G.I. Global Language Cebu)に留学いたしました。

私がフィリピンへの留学に執着しているのは、世界でここだけが個人指導システムを重視しているからです。授業は、4時間が個人

私たちの同窓会は学祖鳳陽先生の号を冠しています。これからもご縁を大切にしていこうではありませんか。

さて、鳳陽会本部事務所は山口市亀山の麓にあります。

この地にはかつて山口高商、山口大学経済学部の校舎が建っていました。その後、吉田に移転し、半世紀が経過しました。

現役の学生や多くの同窓生は亀山校舎を知りません。学生が鳳陽会本部を訪れる機会もほとんどありません。この接点の少なさが若い世代の同窓会離れの背景にあるのではないのでしょうか。

理事会では本部の移転問題と協議しました。大学構

内や吉田周辺に本部事務所を構える構想が浮上しています。亀山世代の同窓生や大学当局と調整しながら進めていこうと考えています。

◇千人湯の思い出  
私は1970年代、山口で暮らしました。寒い冬、湯田温泉の千人湯に行くのが楽しみでした。銭湯より割高ですが、広い温泉にゆったり浸かることができます。学生としては分不相応な贅沢でしたが、今でも思い出

の密度の濃い授業ができています。これまでに約300名の経済学部生が日常会話はまずまずというレベルで卒業して行きました。これも、鳳陽会のご支援があつてこそ可能でした。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

この春も2月15日から3月15日の一カ月、18名の学生たちがセブに参ります。そして、昨年に続き今年も私の英会話クラスには留学生が12名も参加してくれ、皆でLet's enjoy English!です。これからも経済学部の話せる英語力養成のため粉骨砕身頑張ります!

参加した学生たちは帰国してからも皆、嬉々として私の英会話クラスに参加し、積極的に外国人留学生と会話を楽しんでいきます。

この英会話クラスですが、最初の40分はペアで色々な場面での英語表現を練習させます。そして後半の40分に留学生たちを入室させ、一対三で種々のテーマで実践会話をさせるとい

う学生たちが主役の全国の大学でも初の画期的な授業です。これも鳳陽会のご厚志により可能となっているのです。今回は留学生が12名も参加してくれて、一対三で

参加した学生たちは帰国してからも皆、嬉々として私の英会話クラスに参加し、積極的に外国人留学生と会話を楽しんでいきます。



英会話授業受講生と留学生の皆さん

会報「鳳陽」第184号 発行日変更について

第95回通常総会が5月24日に開催されます。総会の日々の2週間前までに招集通知を発送する必要がありますので、次号会報「鳳陽」第184号は5月1日付にて発行となります。

最後に令和7年が皆様にとってよき年となりますよう祈念して新年のご挨拶といたします。

◇東京で再会を  
5月24日、東京・アルカディア市ヶ谷(私学会館)で鳳陽会通常総会が開催されます。東京支部の皆さんが総会に向け、準備を進めています。広島総会は大成功でした。今年は東京で再会しましょう。

2024年、山口は米国の新聞報道によって脚光を浴びました。海外からの観光客が雪舟庭を鑑賞し、湯田温泉に泊まっています。今、私たちの青春の街は世界的に注目されているので

します。冬に訪れた雪舟庭も忘れられません。水墨画の世界が眼前に広がっていました。そして山口といえば、山頭火、中原中也、金子みすゞを思い起こすのです。

## フィリピン留学に 参加して

### 〇二年 小林 咲月

私は8月25日から9月21日までの約一か月、フィリピンのセブ島に短期留学しました。英語への苦手意識が強かった私は、卒業要件であるTOEIC400点を達成できるかという不安が大きく、少しでも英語を身近に感じたいと思い留学を決意しました。

留学当初は初めての海外で緊張や不安、全くと言っていいほど英語が話せない自分が留学に行つて良いのかという心配もありました。しかし、実際に授業が始まると、とてもいい先生方ばかりですぐに打ち解けることができました。

私たちは、4コマのマンツーマン授業と2コマのグループレッスンのプログラムを受講しました。マンツーマンレッスンは、先生と一対一で授業をするため、間違いを恐れることなく、自分のペースで英語を学ぶことができます。これが英語への苦手意識があり、自信がなかった私にはぴった

りでした。間違えても先生が正しい英語を教えてくれるので、リラククスして授業を受けることができ、質問もとてもしやすい環境でした。

授業は全て英語で行われるため、最初は戸惑う部分もありましたが、回数を重ねるたびに先生との会話もスムーズに進めることができるようになりました。スピーキング力のみならず英語が耳に慣れたため、リスニング力もついたように感じます。また、グループレッスンでは様々な国、幅広い年齢層の友達を作ることができました。他国の友達とコミュニケーションを取るときは英語が必須であるため、英語で話す機会が自然と増え、それが英語に対する苦手意識をなくす一つのきっかけになりました。

私が語学学校を卒業する際には、寂しがってくれて卒業式にまで来てくれた友達もいました。留学に参加していなかったら出会えていない人たち、できていないコミュニケーションだったと考えると参加して良かったと心から思います。授業以外でも土日祝日や放課後の時

間を使ってパラセーリングをしたり、ナイトマーケットに行ったりしてフィリピンを満喫しました。

一か月も英語に囲まれて過ごすことはこれからの大学生活ではなかなか経験できないことだと思います。日本では得ることが難しい新たな学びを、留学を通じて得ることができ、貴重な経験をさせてもらえたことに感謝しています。改めて両親に感謝したいです。

私は、今回の語学留学の経験をこれからの英語の講義に役立てていきたいと考えています。



山根先生と留学に参加した学生の皆さん

えています。そのためには、英語を実践的に使う講義を積極的に受講し、大学内外での国際交流イベントやボランティア活動などに参加する等、さらなる英語力の向上を目指したいと思っています。

留学を通して英語力の向上のみならず、異文化理解や国際感覚、幅広いコミュニケーションやコミュニケーション能力を身に付けることができ、周囲の学生とは違う今しかできない経験を積むことができました。このような貴重な経験ができたのは山根先生や経済学部、同窓会の皆さんのご協力のおかげであると実感しています。本当にありがとうございます。

### 〇二年 和田 彩花

今回、セブ島での短期語学留学に思い切つて参加してみたことで、勉強だけではない大きな学びや驚きがありました。28日という短い時間の間に私が感じた些細な気づきや感想を述べさせていただきます。

まず、学習面において、私は自身のスピーキング力に大きな課題を感じていた

ため、その点を克服することを目標として留学に挑みました。実際にマンツーマンレッスンを受けてみて感じたことは「正確さより伝えてみるのが大事である」ということでした。

留学するまでは、いつも文法や語順ばかりが気になり、頭の中で文章を作ってから話し始めていたため、一文のみを頭の中で考えた後に英語に翻訳してその後言葉に詰まる、という負の連鎖が私の中で起き、英語で話すことが怖く感じていました。しかし、留学を通じて、まずは自分の思いに近い言葉を絞り出して何とか文を作ってみるということを意識して話し始めることにしました。マンツーマンレッスンにおいて一番大切なことは「自分の意見に自信をもって伝えようとする」ということです。始めは単語を絞り出そうとしていたため難しかったのですが、慣れてきてからは色々な文を複数作り、とにかく説明してみることが結果的に会話を続けることに

気がつくことができました。次に、生活面においては

睡眠とバランスの取れた食事が元気の秘訣であるということに大きく気づかされました。授業で集中力を常に研ぎ澄ましておく必要があるため、私は毎日二回ほど軽い睡眠をとり、三食必ず食べるということを意識しました。結果、一度も体調を崩すことなく留学生生活を終えることができました。

今後、留学に参加される方に一つアドバイスをするなら、心配しすぎないよう、と伝えたいです。初めての留学で、衛生面や治安の違いなどで大きく戸惑うことがあるかもしれませんが、ものにおいては心配し始めたらきりがなく、ネガティブな思考の連鎖が始まってしまふため、適度な心配で大丈夫だと私は思います。最後になりますが、この度の留学をサポートしてくださった経済学部や同窓会の皆さんに感謝を伝えさせていただきます。皆様のご支援あつて安全に留学を終えることができました。本当にありがとうございました。

## わたしの就職活動

## ◇観光政策学科 伊藤千紗

私は就職活動がスムーズに進んだと言いたいのですが、しかし、就職活動を通して、「頼る」ということの大切さを学べたと感じます。

私は、「まちのひとの暮らし」を直接支えていきたいという思いから公務員を志し、就職活動を始めました。公務員試験は一次で筆記試験があり、筆記試験を突破しないと二次試験に進められない仕組みです。そのため、私は三年生のうちからコツコツと勉強を進めていました。周りよりも早く進路を決め、取り掛かっていたことや、近年倍率が下がっているという噂を聞いていたため、なんとなくうまくいくだろうと正直調子に乗っていました。また、面接があまり得意ではないのですが、勉強を理由に逃げていました。その結果、筆記試験は受かるものの、面接で落とされ、つらい経験が連続しました。

そこで出会ったのが久保田アドバイザーでした。就職活動の悩み事から面接の特別まで、本当に多くの時間をを使い、自分のことかのようにに親身になって相談に乗っていただきました。また、模擬面接を通して、客観的に自分の良いところ、足りないところを見てもらったことで、今までの面接の何がダメであったのか知ることができました。面接本番前の最後の模擬面接ではいつも、「応援しているよ」「成功を祈っているよ」とおっしゃってくださいました。周りが次々と内定先が決まり、焦って精神的に本当に辛い時期でしたが、この言葉がとて心支えになりました。その後の面接は緊張したもの、自分の全力が出せたと思います。

今回、久保田アドバイザーをはじめ、家族、友人、公務員講座のスタッフ、ハローワークのスタッフなど本当に多くの方々のおかげで、何とか最後まで就職活動を続けられたと思っています。深く感謝しております。一人

で抱え込まず、頼れる人に相談し、今の気持ちを打ち明けることで、自分に自信が付き、前向きに物事に取り組むことができると分かりました。

苦しい期間でしたが、これから社会人になるうえで、大切なことを学べる貴重な経験となりました。

就職活動はわからないことだらけで不安になったり、うまくいかなかったりすることもあると思います。ぜひ人生の先輩の力も借りて頑張ってください。

## ◇経営学科 国竹優斗

私の就職活動は、周囲と比べて、早くから始め早くに終わりました。3年生の5月頃就職活動を始め、翌年の3月には内定をいただきました。3年生の間に就職活動を終えることが出来た理由は、社会全体で人手不足が深刻化していること

もあり、やはり私自身が「進路を絞り込んでいたこと」が大きかったのではないかと感じています。私は、早い段階で業種を不動産流通業界に絞り、同業界で役立つ資格を早めに取得したことにより、比較的苦

勞することなく、満足した形で就職活動を終えることができました。本稿では、私の就職活動の流れと就職活動において大切だと感じたことの2点について説明します。

(1) 就職活動の流れ

就職活動は、アプリをスマートフォンに入れることから始まります。私は2年生の後期に、「マイナビ」というアプリを入れました。多くの就活生は、アプリを通じて合同説明会に参加し、企業の採用情報を見て、

行きたい業界や企業を時間のある時に探していました。そんな中で、私は1年生の頃から不動産会社でアルバイトをしていたこともあり、3年生になる頃には不動産流通業界に絞って就職活動することを決意していました。

11月には、本格的な面接が始まりました。その時期から先輩からの勧めで、就職支援室におおよそ週1回のペースで行きました。その目的は、面接練習やエントリーシートの添削等を受けるためです。就職支援室の方には優しく丁寧に指導していただき、私は自信を持って面接を受けることができました。結果として翌年3月中旬に、第一志望の内定をいただき、満足のうち就職活動を終えました。

も簡単にできると思うので、2年生のうちから興味のある業界を複数リストアップして、情報を集めておくとも良いと思います。

2つ目は面接で話せるガクチカ(学生時代に力を入れたこと)や、興味を持ってもらえる話題を持つておくことです。できれば2年生までに色々な経験をしておくことが望ましいです。私は部活動、ゼミ活動、アルバイト、資格等、たくさん力を入れていたため、話題に困ることがなく、面接を有利に進めることができました。ガクチカがない人や強いガクチカが欲しいという人は、できれば2年生までに、経済学部主催のセブへの留学に参加することを勧めます。私は4年生の夏、この留学に参加し、ものの見方や価値観などが変わるきっかけとなりました。もし私が2年生までにこの経験をしていたら、受ける業界、会社が変わっていたらと思うので、貴重な機会です。経済学部の後輩には、ぜひ留学に行って新たな発見やガクチカを得ていただけたらと思います。

3つ目は何かに頼ることです。私は共通教育棟にある就職支援室にお世話になりましたが、経済学部の就職支援室やアプリで支援を受けた友達もいます。就職活動はみんな初めての経験です。分からないことがたくさんあるし、どうしても孤独を感じやすくなってしまいがちです。そういうときこそ、就職支援室、先輩、友達、家族などに相談することが大切だと思います。後輩たちには、仲間や相談できる人を作って、就職活動を乗り切ってほしいと伝えたいです。

◆経営学科

企業法務コース 村田照真

私の就職活動は2週間であつた。就職活動を始めたのも3年次の12月からである。年末に帰省していた高校時代の同級生から、とある大手不動産会社を勧められ、説明会や面談で会社の人と楽しく話をしていた。気が付けば内定をもらっていた。

このように短期で就活を終えることができた理由は私の学生時代の経験にある。私は現在、経済学部で

最も名声を得ている学生の一人だと自負している。私が所属しているゼミでは、山口市長をはじめ、多くの関係者とメディアを招いた提言大会の開催に大きく寄与してきた。さらに、選挙啓発団体や学生ベンチャー企業の代表を務め、青年会議所活動や地域活性化事業にも従事してきた(センキョコンシェルジュ山口、株式会社UBE・COLと検索してみてください)。アルバイトでは土業事務所勤めや議員の秘書を務めた。

学生時代に様々な経験をさせていただいたお陰で、どの会社を受けても内定をいただく自信があつた。また、自身の活動の中でうちの会社に来てほしいとオファーをいただくことも多くあつた。

しかし、私がかねてから就職活動を行なうつもりはなく、就職活動を遠いものだと感じていた。

そんな私に大学3年のクリスマス、大きな転機が訪れた。我が家の財政の柱であつた祖父が急逝してしまいかねばならなくなつた。そんな矢先、同級生か

らの誘いがあり、背に腹は変えられないということでも企業説明会を受けてみた。とても面白い会社だつた。年功序列という言葉は微塵もなく、20代で一千万円を超える年収も狙える環境があつた。何より、私がかねてから希望していた政界に将来足を踏み入れるために必要なスキルが確実にかつ高いレベルで会得できるところが決めた。

私は前述したように学生時代の経験が厚く、話の引き出しが多いため、就活生がよく言う「面談で何を話しているかわからない。自信がない。」ということがなかった。落とせるものなら落としてみろ、と強気な姿勢で臨んでいた。それが功を奏したのか、非常に短期間で良い評価を得ることができ、内定をいただいた。

今、就職活動は売り手市場と言われているが、多くの学生は迷子の子羊状態であるように思う。自分の価値観やキャリアのビジョンをしっかりと定めて就職活動を行なうことが望ましいが、形骸化した自己分析や膨大な情報量など多くのストレスに晒されている若人

にはよほど難しい。新卒の離職率の高さがそれを物語っている。また、就職をライスワークとしか捉えられない学生が多過ぎるのも問題であると感じている。ライスワークではなくライフワークを選ぶことが、人生の幸福度に影響すると言うのに。

この状況を改善するためには、学生が揺るぎない実力をつける以外に方法は無い。起業せよ、というつもりはないが、学生生活において、他人に胸を張って答えられる程度の経験は積んでおくべきだ。

「若い頃の苦労は買ってでもせよ」。諸君、人生における一番の投資は、この学生期間に買った苦労と得た経験だ。まずはしっかりと実力を身につけた上で、就職活動を終えてほしいと思う。私は将来、政治家になるためにこの会社を選んだ。このことに悔いはないし、最善の選択であると自信を持って言える。そういう志を持った学生が、企業が本場に「欲しい」学生なのだろう。

春の開催は平日に、秋の開催は土・日曜、乃至休日に開催するとの取り決めがあります。現役でご活躍中の若い皆さんの参加を期待し、ここ数回は連続して土曜日の開催としています。

支部だより

名古屋支部

第一四〇回

懇親ゴルフ会の開催

令和六年十月五日(土)、第一四〇回懇親ゴルフ会を「森林公園ゴルフ場」(愛知県)で開催しました。

成績は左記の通りですが、久しぶりに中谷さん(学29)が六回目の優勝に輝かれました。

次回の第一四一回の懇親ゴルフ会は、今春の四月二十六日(土)に、岐阜県内のゴルフ場での開催を予定しています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

春の開催は平日に、秋の開催は土・日曜、乃至休日に開催するとの取り決めがあります。現役でご活躍中の若い皆さんの参加を期待し、ここ数回は連続して土曜日の開催としています。

【成績】(ダブルペリア形式) 優勝 中谷さん(N76.6) 準優勝 笠井さん(N77.2) 第3位 川村さん(N77.8) 【参加者】(敬称略) 乾さん(学9)、吉山さん(学17)、笠井さん(学19)、川村さん(学22)、中谷さん(学29)、権藤さん(学45)の六名



今回は天気予報も終日曇り空とのことでしたが、スタート時の曇り空も午後にはすっかり晴天に変わり、未だ夏を思わせる暑い中でラウンドとなりました。

名古屋支部ホームページのご案内

次回開催のゴルフ会に参加を希望される方は名古屋支部HPより申し込みができます。新たな交流の場として、ぜひ恒例行事にご参加いただきますようお願い申し上げます。締切：令和7年3月末

<https://1mp.jp/nagoyahovo/>



(川村恒治 記) 以上

### 京滋支部

#### ―支部統合方針決定!!―

令和6年11月9日(土)、日米の重大選挙が終了し、政局がますます不透明の中、令和6年度鳳陽会京滋支部総会を「都ホテル京都八条」にて開催いたしました。

出席者は、山口より昨年にお招きした有村経済学部長、石島鳳陽会事務局長、関西地域から大阪、神戸両支部長にもお越しいただき、大学13期から大学36期まで総勢15名が参集しました。

はじめに、物故者に黙祷した後、高商校歌を斉唱して総会がスタートしました。この日の支部総会が、前身の京都支部から数えて、通算807回の月例会にあたり、三坂支部長からは、諸先輩方が築いてこられた伝統を継承するとともに、関西地域の会員が勢ぞろいし、オール関西で盛り上げる為、支部統合の方向性について力強い挨拶がありました。

続いてご来賓の有村経済学部長様からは、学部紹介パンフレットにて母校の現状報告と寄付金協力要請がありました。

例年通り、収支報告、監査報告があり、併せて寄贈桜の状況、支部会員動向、次年度行事予定が説明され、最後に京滋支部と大阪支部を令和8年4月より統合方針について会員アンケート結果を説明後、拍手で承認され、総会は無事終了いたしました。引き続き、出席者全員の記念撮影を行いました。

参加京滋支部最年長の西田先輩の乾杯の音頭で始まった懇親会では、和気あいあいの雰囲気の中、山口学生時代を懐かしく語り合いました。歓談途中にご来賓の石島事務局長様の挨拶、続いて羽根大阪支部長様、野口神戸支部長様のご挨拶がありました。

今回は出席者全員が近況報告し、盛り上がりも最高潮のところ、檄を飛ばし、全員で鳳陽寮寮歌、大学学生歌を熱唱し、今年の大河ドラマ「光る君へ」に勝るパワーを爆発させました。

最後に京滋支部最若手出席者の衣川会員からご挨拶と力強い一本締めで、来年も元気にお会

いしましょうと約束し、散会いたしました。

#### 【来賓】

有村貞則経済学部長

石島克幸(学26)鳳陽会事務局長

【出席者】(敬称略)

藤村守(学13)、西田稔(学15)、小林貞夫(学17)、永見忠征(学17)、田房茂(学17)、三坂直彦(学18)、橋本博(学19)、川原章(学19)、野口裕(学21)、田中誠一(学23)、原英一(学25)、羽根彰(学29)、衣川哲悟(学36)

(川原記) 以上



### 岡山支部

#### ―支部総会を開催―

去る令和6年11月17日、午前11時より岡山駅前の「サン・ピーチOKAYAMA」において、岡山支部総会及び懇親会を開催しました。

高見支部長の開会宣言で始まり、議事次第に基づき、会務報告等の議事を進めました。今回は、広島で通常総会が開催された際の全国支部長会議での協議事項を踏まえ、高見支部長から今後の岡山支部の活動のあり方についても協議しようとの提案。岡山での「白熱教室」となり、真剣かつ有意義な議論が進められました。今回の参加者は卒業から70年を数える大学4期の大先輩から、今、まさに仕事に子育てに奮闘中の大学52期の若手まで参加をいただきました。大凡50年の年齢差はあるのですが、その差を超えて懇親が深められたことは今回の意義でもあります。

初参加の方も2名もいらっしやっただので、各人自己紹介。その中で特筆すべき事項は70歳にして起業し、

特許も国内だけでなく、国際特許も取得して、ある商品の事業展開中のお話。日々新たな取り組みがまだまだ現役!です。参加者の各々も、今この時に「青春」をしていらっしやる同窓の方々のお話です。

昨年より始めたゲームを今年も開催。会の最後には参加者みんなで「山都追遙歌」を歌い、宴をお開きとしました。

今後の総会では、少し年齢も大きくなったold boyも新たに制定されている「山口大学学生歌」を練習して、挑戦しようと言う事になりました。

最後に、常連の出席の皆さんからは、新たな時代の幕開けを感じられる有望な若手会員と出会える機会となったとの声もありました。

【出席者】  
中砂勲(学4)、山崎将史(学12)、三谷文彦(学17)、高見正孝支部長(学24)、雄龍清志(学27)、人見慶一(学27)、野澤佳司(学32)、内藤和博(学32)、虫明克志(学34)、原田宜明(学46)、西川由紀(学52)

(文責 内藤)

### 尾道支部

#### ―令和6年度 尾道支部総会―

令和6年9月21日、鳳陽会尾道支部総会開催に合わせ、全学部合同の総会をグリーンヒルホテル尾道で開催しました。残暑厳しい時期でしたが、総勢12名にお集まりいただきました。

午後4時、村上庄蔵支部長の開会挨拶より始まりました。鳳陽会事務局長石島様には遠路よりご出席をいただき、また、ご講演もいただき感謝申し上げます。

尾道支部総会



昨年ご出席いただいた有村経済学部長は、ご欠席となりましたが、昨年、公務により欠席となりました平谷尾道市長(教育学部卒)は、今年はお出席していただきました。そして、この度は、初となる三原支部よりゲストとして二人の参加をいただきました。

懇親会は、小西先輩に進行していただき、自己紹介を含め楽しく賑やかに会を終えることができた。来年も再会を誓いました。

尾道市の観光客数は、658万人と2019年の水準まで戻りました。1人あたりの観光消費額は5、



188円で過去最高になり、外国人観光客数は、ベトナムやマレーシアなど東南アジアから急増、ドイツやカナダなど欧米からも増えて、37万人を超え最多となりました。

【来賓】  
平谷祐宏尾道市長

(S52教育学部卒)  
石畠克幸(学26)

鳳陽会事務局長

【出席者】  
村上庄蔵(学3)、原田秀夫(学14)、小西理文(学15)、  
亀田茂登(学27)  
三原支部より  
松山幸三(学13)、宮本章弘(学31)

(亀田 茂登 記)

福岡支部

―春季親睦ゴルフ会―

今回のゴルフ会は、会場を前回の佐賀から筑紫丘GCに戻し、5月30日(木)に14名のメンバーが集い行なわれました。

鬼丸氏の始球式でスタート。その後、激しく順位が入れ替わる中、最終的には草野氏と並びベストグロスの鬼木氏が優勝を飾りました。2位には山口氏、3位に鬼丸氏が入りました。

ラウンド中や昼食時、表彰式の際も互いの近況やゴルフ談議に花が咲き、楽しいコンペとなりました。

会場は梅雨に入る直前でしたが、高原の涼やかな風にも恵まれ、プレイを満喫することができました。



―秋季親睦ゴルフ会―

9月19日(木)、秋とは思えぬ極暑の中、筑紫丘GCに15名のメンバーが集い、覇を競いました。



悪条件をものともせず、元気にゴルフに熱中し、熱中症など寄せ付けないプレイで互いの健在ぶりを確認する大会となりました。

優勝は松田氏、準優勝は林氏、3位に林田氏の三氏が入り、大会の幕を閉じました。

―三経会親睦ゴルフ会―

10月17日(木)、まだ日差し強いザ・クラシックGCで、三校から49名のメンバーが参加して、第29回目の今大会が開催されました。我が校から11名が参加。

少数ながら、皆、健闘。

個人戦では、優勝は鬼木氏、7位川上氏、8位鬼丸氏、10位森川氏の4名がBEST10入りし、他校にプレッシャーをかけました。

残念ながら団体戦では、人数に勝る長崎大学が優勝。連覇をねらう我が校は、多勢に無勢で三位に甘んじました。

来年はリベンジを果すべく、多くの皆様の参加を願うものです。

【三大会参加者】  
(学20加藤 記)

鬼丸修一(学12)、木下兼吉(学13)、鬼木和夫(学17)、林頼二郎(学18)、加藤久典(学20)、脇野賢一(学24)、林田光博(学24)、山口栄次(学25)、森川康朗(学29)、

【春・秋参加者】  
上田仁教(学18)、草野浩一(学29)

【春・三経会参加者】  
川上知昭(学26)

【春のみの参加者】  
古澤正道(学14)、八尋洋士(学14)

【秋のみの参加者】  
松田和男(学21)、畠中新介(学24)、砂田八郎(学26)、尾崎正樹(学27)

【三経会のみ参加者】  
松本寛(学21)



三校全体で記念撮影

―令和6年度

支部総会・懇親会開催

鳳陽会福岡支部は令和6年12月4日に福岡市内の西鉄グランドホテルにて、「令和6年度福岡支部総会・懇親会」を開催いたしました。総会・懇親会には山口大学経済学部の有村学部長や本部の石畠事務局長のほか、常盤工業会福岡地域同窓会北九州支部の方々にもご出席をいただき、福岡支部会員とともに総勢46名にご参加をいただきました。

### 住所・氏名等、変更された場合は お知らせください

住所・勤務先など変更がございましたら、事務局までご連絡ください。

連絡方法は下記の通りです。よろしくお願いたします。

TEL & FAX : 083-924-4361

Mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp

ホームページ (http://www.houyou.or.jp/) からの  
変更手続きも可能です。

是非ご利用ください。



鳳陽会

検索



総会では森川支部長が議長を務め、令和6年度の活動報告や令和7年度の活動計画などの議案を審議し、支部会員の皆様にご承認をいただきました。その後の懇親会では、皆さま懐かしい顔ぶれとの再会や新たな出会いの中、学生時代の思い出や近況について語り合い、活気にあふれつつも和やかな雰囲気

漂う時間となりました。途中で、有村学部長からも在学生の状況などをお話しいただき、最後に出席者全員で校歌を声高々に斉唱し閉会を迎えました。出席者の皆さまは楽しい時間の終わりを惜しみながらも、次回の再会を期して各々帰路につきました。

(学54 大津)

### 熊本支部

#### —支部総会を開催—

去る11月9日(土)に熊本市の中心地水道町の「ホテルメルパルク熊本」にて、昨年同様、正午より熊本支部総会及び懇親会を開催いたしました。昨年を上廻る出席者を期待していましたが、諸々の事情により会員8名の参加となりました。

まずは物故者へ哀悼の意を表し黙祷を捧げ、記念撮影。総会では支部長の挨拶があり、去る6月8日に行なわれた第94回通常総会及び7年振りに行なわれた支部長会議に出席した松永幹事より通常総会の報告、代理出席した



支部長会議の内容、各支部のあらかたの現状報告がありました。引き続き、資料を基に直近までの会計報告、郵便料等諸物価の値上げ、このままで行くと支部の運営が近い将来逼迫するので、令和7年の支部総会から会費を少々値上げした旨提案があり、全員賛同し支部総会を終了。

懇親会は柴田先輩(学7)の威勢のいい乾杯の音頭で始まり、近況報告では最終的には亀山校舎、平川校舎に盛り上がりました。出席者は皆支部総会、懇親会を楽しみにしており、来年の再開を誓う田代先輩(学11)の締めでお開きになりました。

### 長崎支部

#### —支部総会を開催—

令和6年11月12日火曜日、長崎市眼鏡橋近くの「中華屋竹林」にて、他学部卒業の4名を含む20名の同窓生が参集し、令和6年度の支部総会・懇親会を開催しました。

井手支部長の挨拶で支部総会はスタート。井手支部長は80歳を迎えられ、次の世代にバトンを引き継ぐべく勇退したいとの申し出があり、後任に福富先輩を指名され、満場一致で承認されました。福富新支部長より所信表明の挨拶があり、今後とも長崎支部の活動を盛り上げていこうと呼び掛けがあり



ました。その後、川橋先輩の乾杯の発声により懇親会はスタート。

例年通り非常にアットホームな雰囲気では進みお酒が進むにつれ誰もが席を入れ替わり立ち替わりし、若手からベテラン各年代入り交えて様々な話で盛り上がりました。改めて、「山口大学」という絆のもと、世代や仕事を超えて集まり語り合う時間は非常に有意義でした。毎回恒例の自己紹介兼近況報告を行なったあと、最後に井手支部長の「山口高等商業学校校歌」「山口大

### 本誌への広告のお願い

- ★1/3頁 ..... 40,000円
- ★1/6頁 ..... 20,000円
- ★1/9頁 ..... 15,000円
- ★名刺版 ..... 5,000円

事務局では、皆様方からの広告掲載の申込みを募集しております。  
サイズ、料金は上記のとおりです。

学学生歌」について説明のあと両歌を全員で斉唱、長崎支部の活動を今後も盛り上げていこうと誓い、盛会裏にお開きとなりました。  
【参加者】  
(経済学部卒のみ)  
井手義和(学15)、梅澤成徳(学17)、川橋哲之介(学27)、久松昇(学29)、福富卓(学30)、小林智(学34)、佐野玄弥(学37)、三浦芳生(学40)、溝田照久(学41)、中里誠一(学44)、真浦一将(学44)、須藤啓輔(学45)、辻郷正芳(学45)、栗尾智三郎(学46)、浦川恵(学60)、杉山基(学64)  
(代表幹事 辻郷正芳)

### 宮崎支部

#### 第52回

#### 支部総会懇親会を開催

去る9月7日(土)、宮崎市内「ホテルマリックス(シアマール)」にて令和6年度の支部総会・懇親会を開催しました。  
参加者は総会・懇親会が12名。総会では川崎支部長の冒頭あいさつに続き、規約により支部長が議長となり総会開始。



議案審議として第1号議案「令和5年度決算収支報告」並びに第2号議案「役員改選」説明の後、全会一致で承認されました。第3号議案「規約新設」は今般支部独自の会費導入の規定

追加の審議でした。様々な意見が出るものと予想していましたが、支部の財務現況と今後の活動資金の確保等においても不可欠の課題であることを皆が認識して全会一致で承認となりました。その後報告事項として令和5年度活動報告並びに令和6年度活動計画及び収支予算報告を読み上げ質疑なく無事に総会を閉会いたしました。

総会閉会の後に全員で写真撮影をして、懇親会が永野貴士(学31)氏の乾杯で始まり、和やかなうちにスタートした宴会でしたが、恒例の参加者全員による近況報告が行われると一気に座が盛り上がり笑いあり涙ありで楽しいひと時を過ごしました。今年も宮崎市在住の文理学部出身の關陽子さんに参加していただきました。最後は中久保俊夫(学34)氏の締めで来年の再会を約して散会しました。

なお、今年も例年同日開催していた支部ゴルフは先行して8月24日に開催しました。参加メンバーは当初8名でしたが急遽2名が参加出来ず6名。天候は当初雨の予報でしたが、晴れ間

も出る絶好のゴルフ日よりとなり楽しいコンペとなりました。優勝は中久保俊夫(学34)氏でした。



【総会懇親会参加者】

- 前列右から  
松田浩二(学46)、小野豊昭(学29)、川崎康司(学29)、關陽子(文理)、佐久間沢(学57)  
後列右から  
伊藤一輝(学64)、岩城正人(学48)、中久保俊夫(学34)、山本文昭(学34)、永野貴士(学31)、西田浩二(学42)、小玉和樹(学51)  
【ゴルフコンペ参加者】  
右から  
田口慎也(学46)、中久保俊夫(学34)、川崎康司(学29)、小野豊昭(学29)、岩城正人(学48)  
(学29川崎康司 記)

### 第七一回鳳陽忌

山口高等商業学校校歌に「(基)もとい)を文化の遠きにおきて」と謳われているとおり、経済学部、そして山口大学は、文化12年(1815年)、萩藩土上田鳳陽先生が創設された「山口講堂」に始まります。

このため、昭和2年(1927年)1月には「山口高等商業学校同窓会」は、上田鳳陽先生に因み「鳳陽会」と改称され、今日に至っています。

上田鳳陽先生は、嘉永6年(1853年)12月8日に長逝されました。祥月命日であるこの12月8日には、毎年、鳳陽会山口支部が「鳳陽忌」を執り行ってきました。昨年、令和6年(2024年)にも、12月8日(日)、第一七一回目となる「鳳陽忌」が執り行われました。



忌」が山口市大内御堀の乗福寺境内で厳かに執り行われました。

出席者は、本堂裏にある上田鳳陽先生のお墓の前に集合。急に降ってきた冷たい小雨が止んだ午前7時、乗福寺の五十部至順住職(第85世)の読経の中、順番に焼香を行いました。

乗福寺は、正和元年(1312年)、大内氏第22代重弘が創建し、重弘の没後はその菩提寺となった臨濟宗南禅寺派の古寺で、幕末には、坂本龍馬が長州藩士と密談を行ったお寺としても伝えられています。

出席者は、例年であれば散っている境内の樹々の見事な紅葉をしばらく愛でた後、散会しました。

「鳳陽忌」には、山口大学から総務企画部総務課(基金事務局)の河端泰廣副課長、中尾淑乃学長特命補佐及び経済学部から有村貞則学部長、福岡和子事務局長、また、鳳陽会からは、山口支部の濱田泰学(学26)支部長、重政一慶(学50)総務幹事及び石島克幸(学26)鳳陽会事務局長の計7名が出席しました。

文責 石島(学26)

「鳳陽会」は、皆様方の年会費を基本にして運営しています。

動 静

住所変更

★大学の部

学41	学40	学39	学37	学37	学32	学29	学22	学12	学6	学4	★大学の部
金子	浦川	門山	矢野	釜田	片山	矢野	片岡	石井	日置	木村	英章
健二	幸弘	哲雄	由人	明正	高明	直治	正年	正一	昭和	昭章	(経専42)
(大学8)	(大学6)	(大学5)	(大学3)	(大学2)	(大学1)	(高商31)	(経専39)	(経専41)	(経専41)	(経専41)	(経専42)
	6	6	2	6	6	17	2	2	2	26	6
	11	8	11	9	10	6				3	7
	7	12	28	30	13	29				11	31
										15	29

謹んでお悔み  
申し上げます。



学71	学70	学62	学61	学60	学49	学43	学42	★高商経専の部
河村	伊藤	白井	山中	神田	馬場	中司	戸田	藤井
邦彦	始郎	実	良三郎	忠昭	喜幸	誠二	博彦	保行
(大学29)	(大学21)	(大学20)	(大学19)	(大学17)	(大学17)	(大学14)	(大学13)	(大学13)
6	6	6	6	6	6	5	30	5
5	8	1	12	9	8		4	10
29	30	29	9		25		4	

学71	学71	学71	学71	学71	学70	学70	★大学の部
井上	石光	杉原	長野	木村	岸田	山岡	谷
靖	嶺	功一	俊三郎	進	惇	裕明	弘行
(大学9)	(大学9)	(大学10)	(大学10)	(大学11)	(大学11)	(大学13)	(大学13)
	6	6	6	6	6	6	6
	3	9	10	7	9	1	2
	3	9	10	7	9	1	2

住所不明者  
会報が返送されず  
住所をご存知の方はお  
知らせ下さい。

★高商経専の部  
原田 忠雄

学71	学70	学62	学61	学60	学49	学43	学42
加生	廣田	宮崎	西垣	大加	蘆田	上原	貴文
香奈	幹太	大輝	郁	裕美	成也	貴文	貴文



学71	学71	学71	学71	学71	学70	学70	★大学の部
中尾	椿	関谷	後藤	加来	本竹	木下	和弥
文治	和士	雄次郎	幸那	尚真	叶武	和弥	和弥

同期会だより

大学13期

卒業60周年記念

同期会を開催

懐かしの友と  
久しぶりの邂逅に感動！  
去る9月12日、山口湯田  
温泉に於いて、卒業60年を  
期しての同期会を催すと、  
各地から30名程の者が参集  
した。

流石に八十路を越えた老  
人だけに、俄かに体調  
不良の発症や、周辺近  
親者の不具合等もあつ  
て、直前に取り止める  
者も数人あつたのは、已  
むをえないことでもあつ  
た。

中には、卒業以来、  
半世紀余りを経過して  
の再会もみられる等、  
あちらこちらで久闊を  
叙する挨拶が飛び交い、  
曾つての寮生活やゼミ  
ナールでの議論、或いは  
またクラブ活動に於け  
る事柄等に話が及び、  
ともかくにも若き青  
春時代に戻つての一刻を  
過すことが出来たので  
ある。



同期生の中でも、既に身  
罷つた者が相当数に上り、  
宴の始まる前に黙祷をし、  
哀悼の意を捧げたが、いず  
れ我々もその友人達を追つ  
て黄泉の世界に渡ることが  
自明の理であろう。  
尽きぬ語り合ひは深更ま  
で続き、最後には次の機会  
をうかがつて、米寿を祝う  
同期会を催そうとする声も  
湧き出る程であつた。



鳳陽寮玄関 (学12永沼嗣朗氏提供)

【参加人員】29名  
【場所】セントコア山口  
(山口市湯田温泉)  
【世話役】野村照男、森昌  
幸、淵上洋一

陽寮跡辺りを散策逍遙す  
るグループ、そして瑠璃光  
寺五重塔から一の坂川辺り  
を訪ね歩く者達。また、  
昔住んでいた下宿跡を訪  
ねる者等、暫し、我が来  
し方の跡を堪能した様で  
あつた。  
いかに齢を重ね、老いの  
身になれども、懐旧の情は  
衰えないということに改め  
て痛感した次第である。  
(記 淵上洋一)

寄付金及び賛助会費  
 納入者(芳名  
 (敬称略)

令和6年12月15日現在

○寄付金(団体)

大学13期 有志一同  
 大学14期 有志一同

○寄付金(個人)

学6 常本英昭  
 学16 河田郁郎

○賛助会費(5口)

学17 宮崎修五

学部短 信

次のとおり先生方の異動をお知らせします。

(敬称略)

新任(令和6年10月1日付)

國崎 歩 観光政策学科 准教授

(九州共立大学経済学部 経済・経営学科 准教授から)

佐藤 佳邦 経営学科 准教授

(一般財団法人電力中央研究所 上席研究員から)

郷 庭雲 経営学科 准教授

(中国華東政法大学経済法学院 講師から)

肖 森 経営学科 講師

(同志社大学商学部 助教から)

【訂正とお詫び】

会報182号掲載の  
 寄付金納入者のお名前に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに左記のとおり訂正させていただきます。

誤 阿南 義隆  
 正 阿南 吉隆

寮歌祭

—日本寮歌祭開催—

♪東京支部有志が

鳳陽寮歌祭熱唱♪

第64回日本寮歌祭が令和6年11月24日、東京・日暮里のホテルで開催された。北海道から九州まで全国の大学同窓生が結集。鳳陽会東京支部の有志は壇上に立ち、鳳陽寮歌を熱唱した。

◇開会式で檄

午前11時から、開会式が行われた。開会宣言などの後、鳳陽会東京支部長、塩塚保(学23)が壇上で、声高らかに檄を発する。

「いざや歌わんかな 熱き血潮のおもむくまに いざや歌わんかな 青春の讃歌を 我ら 寮歌の灯を高く掲げ 混迷の世に一筋の光を献ぜん」

会場から大きな拍手が沸き起こった。

そして参加者全員で乾杯。いよいよ、寮歌高唱が始まる。各大学の同窓生は母校の寮歌を次々に歌っていく。旗を振り、歌い、踊る。

◇薩長同盟結成

山口高商の伝統を受け継ぐわが山口大学経済学部は

後半に登場する。決められた席でしばし談笑する。たまたま、会場で隣り合わせなのが鹿児島大学だった。酒を酌み交わすうちに意気投合。急ぎよ、薩長同盟が結成された。山口大学が壇上で歌う時、鹿児島大学が応援に駆け付ける。鹿児島大学が歌うときは山口大学が応援する。

いよいよ本番だ。同窓生は山口高商の校章が入ったオレンジ色の法被を着用して壇上に立った。伝統の旗を誇示する。寮歌高唱の前、支部長の塩塚が檄を発する。

「明治維新の策源地 長州・山口に 士魂商才の学徒あり」

檄文の節目、節目に同窓生が「ウオー」と叫ぶ。会場の全員が目するなか、同窓生は肩を組み、明治時代から続く伝統の鳳陽寮歌「花なき山」(佐々政一作歌)を1番から4番



◇三高商の絆

日本寮歌祭には長崎大学(長崎高商)と小樽商科大学(小樽高商)が参加した。鳳陽会東京支部は両校同窓会

まで熱唱した。「花なき山の 山かげの月も宿さぬ 川の辺のはせに立ちたる 学び舎に起き臥す友よ いざつどへ」寮歌を歌い切った。会場から大きな拍手が沸き上がる。同窓生たちは意気揚々と壇上を降りていった。

次の日本寮歌祭も三校が力を合わせ、盛り上げていくことを誓った。

第65回日本寮歌祭は令和7年11月23日に開催される。

鳳陽会東京支部へ友達登録をしてみませんか？  
 LINEの友達登録ができるQRコードを作りました。  
 ホームページ掲載の最新トピックスがお手元に届きます。

◆操作手順

- ・LINEアプリを起動しQRコードの読み込み
- ・友達「追加」のボタンをタップ
- ・氏名と卒業年をお忘れなく

# 永池克明君(学15)の 3回忌を追悼して

令和4年6月12日付け、彼の手記の末尾には「メンネルの仲間とは毎年6月に同窓会(メンネルコール・イン・広島)で再会して、いつも当時の愛唱歌をハモラしている。ここ数年はコロナ禍で中断しているが、今年か来年には再開されるよう。それを楽しみにしたい。」と記されている。

新入生として、永池君が入寮してきて、夜半に空腹に耐えられず、後河原のうどん屋に食べに行つたと当時を懐かしく語っている。永池君と皆で談笑の折は、彼はいつも山口の学生時代を懐かしく語り、頻りに山口に足を運んでいた。

彼と私達とは、令和元年の第12回OB会の翌日に彼の提案で江田島を一日かけてドライブし、旧海軍兵学校も見学し、JR呉駅にて散会したのが最後で、それから3年間はコロナ禍のため、広島でのOB会は休眠状態となり、悲運にもその後の再会を果たせず。

彼自身の人生後半に関して、「私は、会社員だけの人生を送るつもりはなく、その経験を活かし、教育の道に進み、時代を担う若者を育てる仕事をしたいと思つた。それは大学時代にたびたび訪問した長州の萩、松下村塾や明倫館の思い出が影響している。」と語っている。吉田松陰のイデオロギー的な思想面ではなく、教育者として塾生の個性を発掘し、才能を伸ばせる有為な人材を世の中に輩出した松陰の思想と人間観に、彼は在学時代から傾倒し、心酔していったようだ。

58才で会社を退職する前の3年間を、夜学で中央大学経済学部大学院・博士課程で学び、博士号の学位を取得すると即、幸運にも九州大学の経済学部の新設されたビジネススクールの教授として招聘されて、退官までの7年間を大学教授として、その後は久留米大学商学部・大学院の教授として6年間を経営戦略論と国際経営を担当。彼のゼミナールはいつも応募者が定員を超える人気の講座で、しばしば生徒と共に萩の松下村塾を野外研修の一環として訪問し、ここでも現代版・松陰の教育思想を永池教授は遺憾なく学生達に伝授された。さらに我が母校の経済学部の非常勤講師としても教壇に立ち、

令和元年の第12回OB会までの毎年、一年後輩の永池君とは広島で再会し、男声合唱を楽しみ、夜を徹して談笑した旧知の親友でもあった。石崎君によれば、学部2年生の時、鳳陽寮・北寮の彼の同室に、



氏永池の在りし日(平成12年頃撮影)

吾らの後輩諸君への教鞭も執られた。彼の手記のタイトルは「東芝での36年間と大学教授13年の人生」となっており、東芝時代の若い時の、ドイツ・キール大学戦略経済研究所への留学経験、40才代の若さで、米国の子会社に副社長として3年間赴任、その実践体験は、のちに経済学者としての後半人生に、貴重なノウハウとなつたであろうことは容易に想像がつく。



永池君(左より二人目)と共にメンネルの仲間たち(2019・6・29 呉軍港にて)

彼の足跡を辿ると、男声合唱のアンサンブルの美しさを、ハモラセル事に魅せられて追求する如く、社会人として、職業人としても、彼の物静かな語り口からは、学生時代から培つた信念に基づき、自らの想いを実践する、秘めたるスケールの大なる行動の美学があり。会社員時代、大学院時代の仲間、上司、先輩の諸氏に恵まれた事も彼の温かく誠実な人間性に由来するものと想像する。学部の一

「永池君」とは言えず、彼の輝かしい足跡を顧みれば、尊敬と敬愛の念を持って、「故永池さん」と呼称すべきで、私達は3回忌を前に彼の死を悼み、冥福をお祈りして、再度の合掌！です。

(この投稿につき、ご遺族の奥様より彼の手記の一部を引用させて頂く事の内諾をいただき、ここに感謝し、厚くお礼申し上げます) メンネル広島OB会 広報担当 守山茂(学14)

## 本号の内容

新年のご挨拶	1~2
学園だより	2~5
支部だより	5~9
鳳陽忌	9
動静	10
同期会だより	10
寄付お礼	11
寮歌祭	11
永池克明君の3回忌を追悼して	12

## 事務局から

鳳陽会では皆さまからのご投稿を心よりお待ちしております。

学生時代の思い出や、催しのご案内等何でも結構です。また、詩、短歌、俳句、写真など、皆さまの作品も大歓迎です。

なお、次号の会報「鳳陽」第184号は、第95回通常総会が5月24日開催の為5月1日発行としております。例年より早い発行となりますので、原稿の締切は3月3日(月)とさせていただきます。詳細は事務局へお問い合わせください。

(Y)